

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 こりっつぷらす		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 14日		2025年 10月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2025年 10月 14日		2025年 10月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの特性や発達段階に応じた個別カリキュラムを作成し、粗大運動・微細運動の両面から発達を支援をしている。	・子ども一人ひとりの興味や得意・不得意を踏まえて活動内容を調整し、無理のない課題設定を意識している。 ・粗大運動では、達成感を得られるよう段階的に支援し、微細運動では楽しみながら集中力や巧緻性を高める工夫をしている。	個々の特性に応じた支援内容の具体化と、職員間での支援方針の共有・統一を図る。
2	子どもの強みを生かし伸ばすことを重視するとともに、保護者の悩みや困りごとに丁寧に寄り添い、安心して相談できる関係作りを行っている。	・子どもの得意なことや興味のあることを活動に取り入れ、自信に繋がる声かけを行っている。 ・保護者とは連絡帳や面談を通して思いを共有し、安心して相談できる関係作りに努めている。	保護者との連携をより深めるために、家庭での支援方法や子どもの変化を共有する機会を増やす。
3	こども園や関係機関とも密に連携を図り、家庭や地域と一体となった支援を進めている。	・こども園や関係機関と情報共有を密に行い、支援方針の統一を意識している。家庭とも連携し、家庭・園・事業所が一体となった支援を心がけている。	こども園との連携体制を見直し、より効果的な支援に繋げていくことを目指す。家庭とも連絡帳や面談を通して共通理解を深め支援の充実を図る。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の支援プログラムや活動内容を知ってもらう機会がない。	こども園の中でまだ認知度が十分ではない。HPやSNSでの発信もしていない。	事業所の特色や支援の内容を幅広く知ってもらう取り組みが必要。HPの作成やSNSでの発信、相談会や体験会の実施を行う。
2	地域との交流や保護者間での交流の機会を設けることができていない。	開催のタイミングや時間をどのようにしていくか、保護者が必要性を感じているのか検討・確認が必要。	保護者の意見を伺いながら必要に応じて保護者会の開催を検討したい。
3			